

三菱サーキュレーター

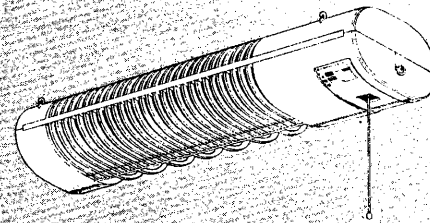
AC-90S-M

AC-90S-C

AC-90P

AC-90A

取扱説明書



上手に使って上手に節電

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

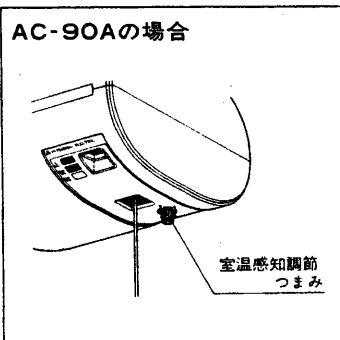
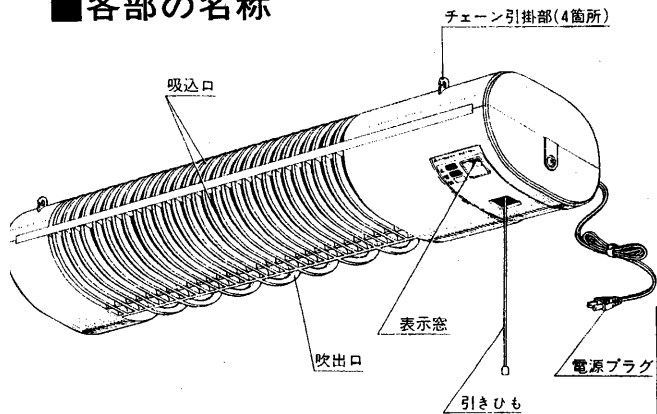
ご使用の電気品の説明書は保存しておいてください。

万一 ご使用中にわからないことや不都合が生じたとき きっとお役に立ちます。

三菱電機株式会社
〒100 東京都千代田区丸の内二丁目2番3号

8710C®R
588H51455

各部の名称



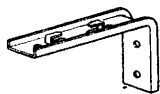
付属部品



フック (2本)



チェーン (2本)

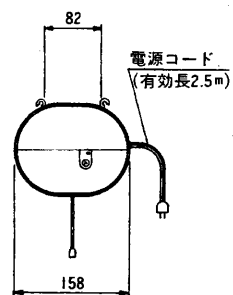
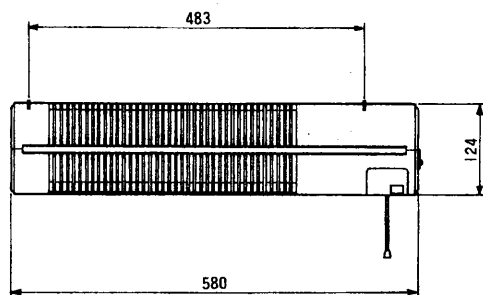


壁面取付金具 (2個)



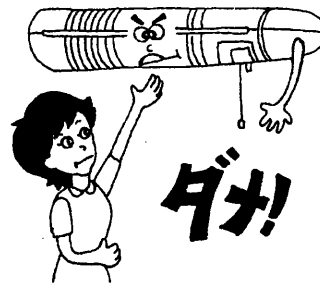
木ネジ (4本)

外形寸法図

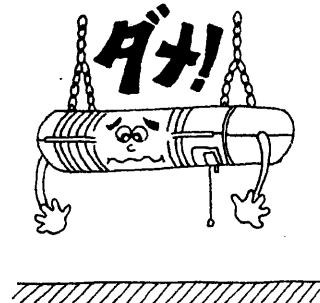


ご注意

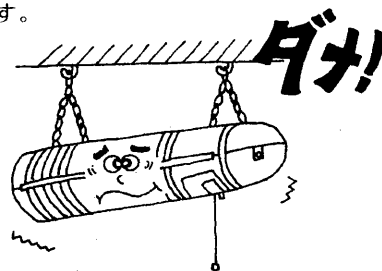
- 回転中は危険ですので、羽根に指や物などを入れないでください。



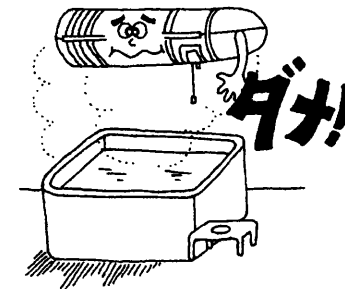
- サーキュレーターを床など低いところでは使用しないでください。羽根にふれると危険です。



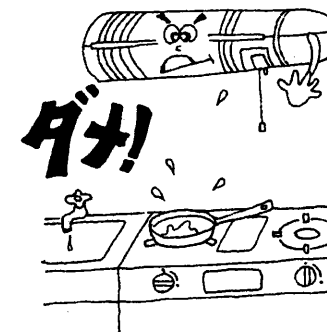
- サーキュレーターは斜めや垂直に立てて使用しないでください。構造上、モーターの寿命が短くなります。



- 湿気の多い場所 (浴室など) では使用しないでください。漏電や故障の原因となります。



- 油のつきやすいところ (台所など) では使用しないでください。油が付着しますと変色・変形・破損などの原因となります。

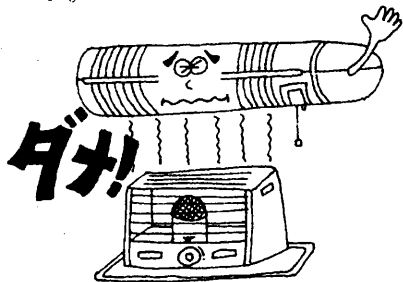


- ご自分での修理・改造はしないでください。



- 石油ストーブなど暖房器具にサーキュレーターの風を直接あてないようにしてください。

風があたると炎がゆれたりして不完全燃焼の原因となりますので、ストーブの位置をずらしてご使用ください。

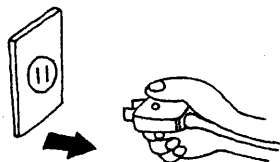


- 必ず適正配線された単相100ボルトの専用コンセントを使用してください。

たこ足配線や、電灯用配線（ソケット）からの配線は、過熱の原因となります。

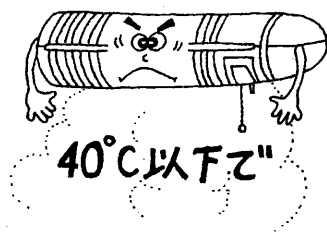
- 電源コードをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。

コードを直接引っぱりますと断線することがあります。



- 周囲温度が40℃以下のところでご使用ください。

40℃を越える雰囲気の中で長時間使用しますとモーターやスイッチなどの電気部品の絶縁物が劣化しやすくなったり、軸受部分の給油が不完全になり、軸と軸受けの焼付きの原因となります。



■ 取付位置

暖房器具の発熱量により、取付ける位置を次のようにしてください。

■ 暖房器具の熱量が小さい場合

（可搬式ストーブ・ガスストーブなど）

- 暖房器具の近くに取付けてください。

ただし、暖房器具の真上から前または横に必ず1m以上離してください。

（図1）

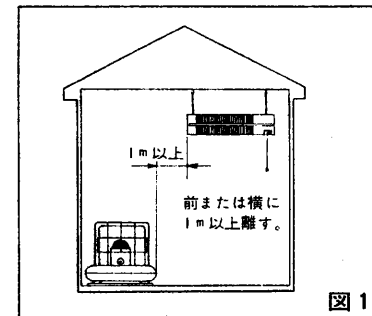


図1

■ 暖房器具の熱容量が大きい場合

（ポット式ストーブ・石炭ストーブなど）

- サーキュレーターは暖房器具からできるだけ離れたところに取付けてください。

（図2）

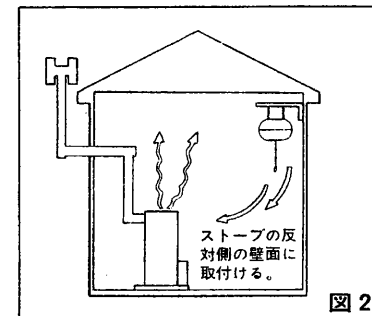


図2

■ 空気が流れが妨げられないところ

- 家具などの上に取付けないでください。サーキュレーターの風がさえぎられて、十分な効果が発揮できなくなります。

（図3）

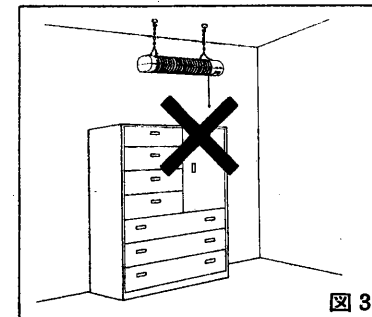


図3

ご注意

- 窓の上には取付けないでください。冷風を感じる場合があります。

■ 取付方法

サーキュレーターは2.6kgありますので、この重量に充分耐えるような取付けかたをしてください。(本体引掛部のチューブはチェーン外れ防止用ですのでチェーン取付後も取外さないでください。)

■ 天井に取付ける場合

1. (図4)のようにフックを天井に取付けてください。
 - 天井が合板・石膏ボードなど弱い場合は、板を打付けるなど必ず補強してから取付けてください。
2. 取付け高さが床面より1.8m以上になるようにチェーンを調節して水平に取付けてください。(図5)

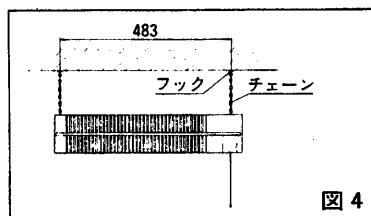


図4

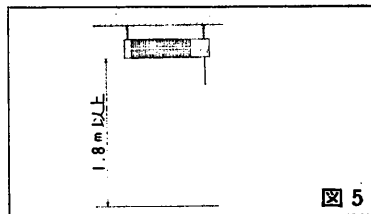


図5

■ 壁に取付ける場合

1. (図6)のように壁面取付金具を付属の木ネジで取付けてください。
 - 壁面が合板・石膏ボードなど弱い場合は、板を打付けるなど必ず補強してから取付金具を取付けてください。
2. 付属のチェーンをベンチなどで4本に切って取付け高さが床面より1.8m以上になるようにチェーンを調節して壁面取付金具の引掛部にチェーンを掛けて水平に取付けてください。

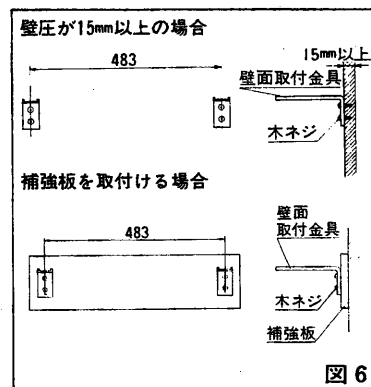


図6

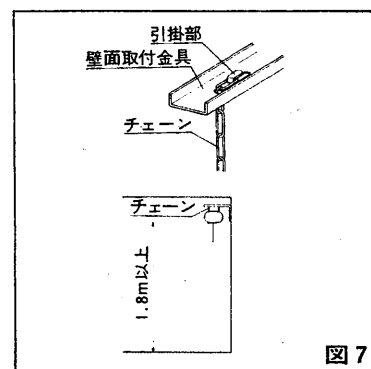


図7

ご注意

- 壁面取付金具を使用して取付ける場合、壁面取付金具の先端引掛部だけで取付けないでください。振動や騒音の原因となります。

■ 使用方法

<AC-90S-M・AC-90S-C・AC-90Pの場合>

1. 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
2. 引きひもを引くたびに **止** → **強** → **弱** → **止** に切り替わり表示窓に色表示します。

<AC-90Aの場合>

1. 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
2. 手動運転
室温感知調節つまみを「手動」の位置にセットすると前述 (AC-90S-M等) と同様に運転できます。
3. 自動運転
室温感知調節つまみを回し「中」の位置にセットし、引きひもで「強」または「弱」のお好みの風に合わせてください。
部屋の温度が室温感知調節つまみでセットした温度以上になると自動的に運転を開始し室温が下がると自動的に停止します。

<室温感知調節つまみの調節について>

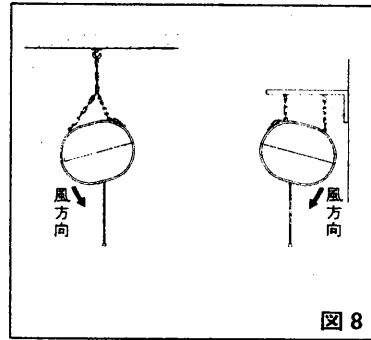
- 部屋が暖かくなっているのに運転しない……………室温感知調節つまみを「低」の方へ回し調節してください。
- 部屋が暖かくなっていないのに運転を始めた……………室温感知調節つまみを「高」の方へ回し調節してください。

ご注意

- 自動運転の場合、周囲温度を感知して「運転」「停止」を行いませんので、暖房器具の大きさや位置及び取付け高さによって運転を開始する時間が異なりますので、室温感知調節つまみで調節してください。暖房器具の発熱量が小さい場合、「運転」または「停止」するまでに時間が要することがあります。停止までに時間がかかり冷風を感じる場合は、弱運転にして使用してください。
- 自動運転中、運転を停止するには引きひもを引いて「切」にしてください。
- 自動運転中、暖房器具を切ったり窓をあけて室温が下がってもサーキュレーターの周囲温度が高い場合にはすぐに停止しません。
- 外出する場合や長時間使用しない場合は、引きひもで「切」にしてください。

■ 風向調節方法

- (図8)のようにチェーンの長さを変えて風向を調節してください。



■ お手入れのしかた

- お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて本体を取外して行ってください。
- お手入れのときは、板金部品などの切口により手を切る場合がありますので、厚手の手袋を着用して行ってください。
- あまり汚れがひどくなる前に（2～3箇月に1回程度）お手入れを行ってください。
- グリルなどの汚れは、ぬるま湯にひたした布をかたくしぼってふいてください。汚れのひどい場合は、石けん水（中性洗剤）を含ませた布で汚れを落とし、さらにきれいな水にひたした布で石けん分をよくふき取ってください。
- 羽根の間などに付いたホコリはブラシなどで落してください。羽根に傷など付けますと振動や騒音の原因となりますので、ていねいに取扱ってください。

ご注意

- モーターやスイッチなどの電気部品は水に浸さないでください。漏電などの原因となります。
- プラスチック部分や塗装面の清掃には、次の薬品などは使用しないでください。色があせたりつやがなくなることがあります。
揮発性の溶剤（ガソリン・シンナー・アルコール・ベンジン・灯油など）スプレー（殺虫用・整髪用）、化学ぞうきん、みがき粉、など。

